

おぢや保育園

学校法人舟陵学園
小千谷認定こども園

時を共にした子供達の原点



当プロジェクトは元々設置されていた小千谷幼稚園 (1956 年築) に併設される小千谷認定こども園「おぢや保育園」の増設工事である。大きなコンセプトとして「三つの理」からの考察を加える事とする。

- ① 自然の理
- ② 歴史の理
- ③ 人の理

の三つの観点から整理する。

具体的なデザイン計画においては、重要3点についてデザイン手法を考察する

- ① 建設地が小千谷市内である事の地名の意味をもう一度考察する事とした。小千谷市は小さな千の谷と書く。
- ② 設置される保育園の運営母体が歴史的にも貴重な建築物である慈眼寺様 (戊辰戦争の時の談判の場所として使用された) である。

記念石碑を取り囲む様に「慈」・「眼」の二つの眼を配置

- ③ 幼稚園+保育園=幼児一体化が叫ばれて久しい。制度以前の幼き子供たちの成長を見守る器としての Kinder+garten (子供園) 建築全体に子供のおもちゃ (トイ) が散りばめられた様なデザインを施す事とした。

自然の理

小千谷「こせんたに」
とも読むこの里
小さく重なり合う
谷合が織りなす景観を
デザインモチーフに置いた



歴史の理

文化・歴史が人を育てる
歴史 (河井継之助の石碑)
を眼で、肌で感じることで
未来への希望と
勇気と不屈の精神を養う



人の理

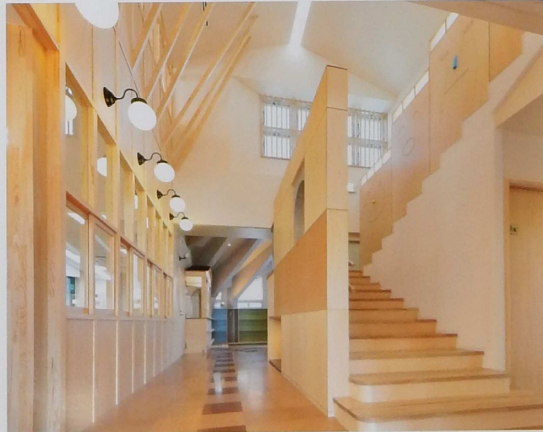
人の繋がりが集まる
慈眼寺の境内。お寺の
景観を崩さないデザインと
織のモチーフで、
街とつながり、
人とつながる。



森の中にたつた外観デザイン



園の花 (▼) ライティング



木立のエントランス樹木におかれた建前イメージを転写



『おぢや保育園』プロジェクト

～ 理・想・部 ～ project

小千谷「こせんたに」も読むこの里は、
小さく重なり合う谷合が織りなす
景観からつけられたのであろうの。
そこで、景観にも重なる
谷・山をデザインモチーフにしたこととした

1階



2階



1 階面積 273.10 m²
2 階面積 198.05 m²
延床面積 471.15 m²

自然・歴史をモチーフに設えたものたち

戊辰した「くさく」で「けやき」を使った
庭園名サインベンチ、こあら、...



室内に設えたチャイルドトイ (おもちゃ箱のような空間)



ドリームトンネルをくぐるキッズガーデン (子供園) が広がる



登木道の正面にお庭と石碑を置く